

信 条

本会は、同窓生相互の連絡を密にして親睦を深め、社会学部及び法政大学の発展のために活動することを目的とする。
(会則第3条)

法政大学
社会学部

同窓会報

法政大学社会学部同窓会

発行人 鹿山 秀佳(同窓会会長)
編集人 伊藤 正義(会報委員長)
〒194-0298 東京都町田市相原町4342
法政大学3号館(図書館・研究所棟)5階
TEL・FAX 042-783-2421
http://www.houseisoc-dousokai.jp/
郵便振替口座 00140-1-63762

多摩キャンパス開設20周年記念 ホームカミングデーに集う 記念集会・懇親会パーティ・ゼミOBG会

十月三十一日の日曜日、多摩キャンパス開設二十周年記念行事のひとつ、ホームカミングデーが、教職員、学生、卒業生の協力のもとに、つつがなく開催されたことを報告したい。

第一部記念集会(午前十一時十五分)午後一時、大教室A棟のプログラムは左記のとおりであった。

まず、総務部長、船橋晴俊社会学部長、廣田明現代福祉学部部長から各学部の近況の報告がなされた。次いで平林千牧常務理事から現在進行中の教学改革状況について報告があった。記念講演の「我が人生と営業」は、旧山一証券最後の代表取締役社長として奮闘された経済学部卒業生、野澤正平さんの心温まる苦勞話。最後に、法政大学の合唱団アリオコールが登場して「青春の歌」を披露して頂いた。司会は須藤春夫社会学部教授が担当された。第二部の社会学部懇親会パーティは元テレビ朝日アナウンサーの横館英雄



④記念集会・開会式の常務理事と3学部長 ⑤懇親会で挨拶する船橋社会学部長



⑥鹿山同窓会会長と金山名誉教授の祝辞 ⑦ホームカミングデー委員の湯川教授と会場風景

OBの司会で午後一時十五分から百周年記念館三階研修ホールで開催された。はじめに船橋晴俊社会学部長からスピーチを頂いて、金山行孝社会学部名誉教授、鹿山秀佳同窓会会長から祝辞の挨拶を頂き、上林千恵子社会学部教授の乾杯の音頭で開幕。アトラクションは現役の学生諸君の力を借り、越部清美ゼミ生による沖縄伝統芸能(エイサー)並びに学生サークルによるサルサの模範演技である。出席者一同、青春の眩しきも力強いパフォーマンスを堪能。暫しの歓談と休憩を挟んで、田中義教事務部付部長からのお話があり、閉会の挨拶は羽場久泥子社会学部教授にして頂いた。最後に、社会学部講師で卒業生の竹下睿駿さんの指揮のもとに一同で校歌を斉唱した。

パーティーに参加された多摩卒業生の中には、ゼミで結ばれたカップルで小学生のお子さんを連れて来られた方々もおられて、まこと親密な雰囲気となった。奇しくも、一、二部の司会者は、65年卒の故佐藤敬ゼミ。放送研究会の同期生である。第三部は、午後三時半過ぎから社会学部のゼミOBG会である。記念館二階の小部屋、学部棟のゼミ室で久方ぶりの旧交を温められたのではあるまいか。名誉教授の高橋彦博、金山行孝先生のゼミ生は、市ヶ谷時代の卒業生もはせ参じて盛況であった。

ゼミ別懇親会の宴たけなわの頃小雨が降り出し、同時間開催の自主法政祭の現役学生とロンドを組んで校歌斉唱しながら、フィナーレの花火大会で最高潮に達した。卒業生の動員については危惧していたが、同窓会の関係者、学部の諸先生そして十月初頭における学部長の努力もあって、連絡が徹底され、総勢200名ほどの集会になった。

第二部、第三部の設営と進行については、社会学部事務課長山口尊氏を始めとする職員諸氏の多大なお世話を被った。同窓会事務局の近藤榮一さん、伊藤正義さんのご尽力にも謝意を込めておきたい。(ホームカミングデー委員・湯川新教授)



乾杯の音頭をとる上林千恵子教授



多摩卒のOBGに囲まれた船橋社会学部長

記念シンポジウムと 記念式典・祝賀会も

十月九日(土)に予定されていた法政大学多摩キャンパス開設20周年記念式典・祝賀会は台風のために、十月十一日(土)に延期された。記念式典は午前十一時から大教室A棟で開催され、祝賀会は午後三時半から大教室B棟で開催された。パネリストは、炭谷茂氏(環境省事務次官、小林尚登(工学部)、原田悦子(社会学部)、萩原俊一(現代福祉学部)、コディネーターは永井進(経済学部)の各教授が担当した。



祝辞を述べる鹿山秀佳同窓会長



社会学部教授陣も多数参列



越部清美ゼミ生によるエイサー



閉会の辞の羽場久泥子教授



金山行孝ゼミOBG会



高尾利数ゼミOBG会



相田利雄ゼミOBG会



須藤春夫ゼミOBG会



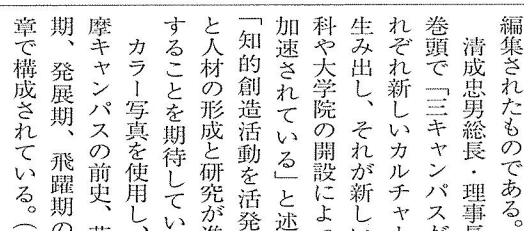
船橋晴俊ゼミOBG会

初顔合せは箱根駅伝で同窓会初顔合せは箱根駅伝・復路日に校友連合会横浜支部の応援場所集合し開幕。

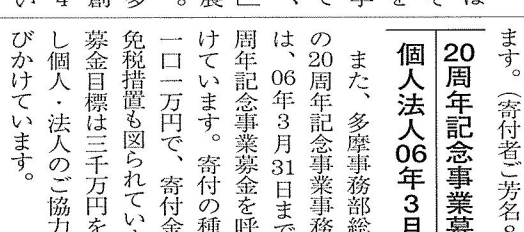
日 時 1月3日11時
場 所 横浜・築地橋
新年会 重慶飯店13時
会 費 五千円(中山デ



竹下睿駿講師の音頭で校歌斉唱



社会学部懇親会



社会学部懇親会

清成忠男総長・理事長は巻頭で「三キャンパスがそれぞれ新しいカルチャーを生み出し、それが新しい学科や大学院の開設によって加速されている」と述べ、「知的創造活動を活発に」と人材の形成と研究が進展することを期待している。カラー写真を使用し、多摩キャンパスの前身、草創期、発展期、飛躍期の4章で構成されている。(問い

写真集が記念刊行
4章構成で歴史が
多摩キャンパスの開設前史から現代までの歴史を写真で振り返り、未来への思いを新たに企画された「写真集」20年の変遷と現代が記念して刊行された。

これは萩原進経済学部教授が委員長となり6人の委員の編集委員会が設定され短時間に奔走された資料写真が収集されA4判98頁に編集されたものである。

また、多摩事務総務課の20周年記念事業事務局では、06年3月31日まで、20周年記念事業募金を呼びかけています。寄付の種類は一口一万円で、寄付金には免税措置も図られています。募金目標は三千万円を計画し個人・法人のご協力をよびかけています。

20周年記念事業募金
個人法人06年3月迄